

2b ディスプレイをつなぐ

もしHDMI端子を使わない場合、アナログ入力のTVかモニターに接続する

3 入力端子をつなぐ

USBキーボードとUSBマウスの端子を差し込む

4 ネットワークにつなぐ

LANケーブルを差し込む
[オプション]

1 SDカードを差し込む

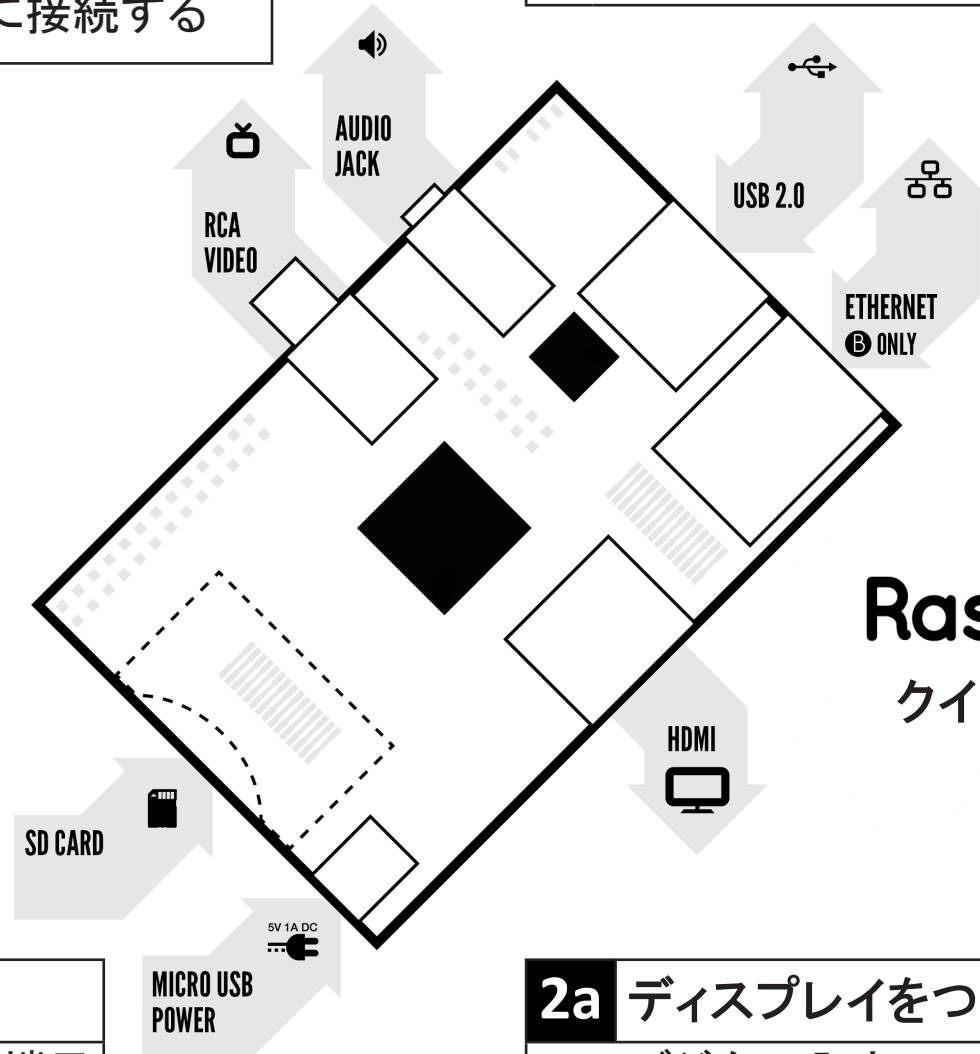
SDカードの準備方法は
3ページ目を見て下さい

5 電源を入れる

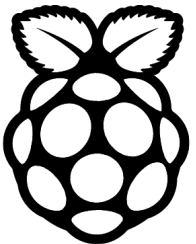
マイクロUSBの電源端子を差し込む

2a ディスプレイをつなぐ

デジタル入力のTVか
モニターに接続する



Raspberry Pi
クイックスタートガイド



Raspberry Piのセットアップに必要なもの:

	必要なもの	最低限推奨するスペックとその他の事項
1	SDHCカード	<ul style="list-style-type: none">最小サイズ 4GB; class 4 (<i>class</i>はそのカードの速さの指標です)信頼性の面からブランド品のSDHCカードをおすすめします。
2a	HDMI – HDMI / DVI ケーブル	<ul style="list-style-type: none">HDMI – HDMI ケーブル (HDMI入力端子のあるHD TV やHDモニター用) もしくは HDMI – DVI ケーブル (DVI入力端子のあるモニター用)ケーブルや変換コネクタは500円から1000円で買えます — 特に高い品物を買う必要はありません。
2b	RCAビデオケーブル	<ul style="list-style-type: none">もし、HDMI入力端子のあるモニターを持っていない場合に、アナログディスプレイに接続するために使う、標準的なRCAビデオケーブル。
3	キーボードとマウス	<ul style="list-style-type: none">普通のUSBキーボード、USBマウスで動作するはずです。ただし、キーボードやマウスがUSB端子から多くの電力を必要とする場合、電源付きUSBハブが必要かもしれません。無線デバイスについても同様です。
4	LANケーブル [オプション]	<ul style="list-style-type: none">LANケーブルの接続はオプションですが、Raspberry Piに新しいソフトを入れたり、ソフトをアップデートするのがとても楽になります。
5	電源アダプター	<ul style="list-style-type: none">少なくとも5V 700mAの質が良いmicro USB端子での電源供給が必須です。多くの携帯電話用充電器が適しています—充電器の表示を見て下さい。もし供給電圧が5V以下の場合、Raspberry Piは全く動かなかったり不安定な動作をするかもしれません。安っぽい充電器には注意すること: 一部のそのような充電器は想定通りには動きません。もし充電器が700mA以上の出力が可能であれば、気にしないでいいです。
6	オーディオケーブル [オプション]	<ul style="list-style-type: none">もしHDMIを使っているのであれば、HDMI経由でデジタルオーディオ出力ができます。もしアナログRCA接続を使っている場合、RCA端子の隣の3.5mm端子からステレオのオーディオ出力ができます。

ケーブルについて学ぶ:



HDMI コネクタ



HDMI – DVI 変換ケーブル



RCAビデオコネクタ

Raspberry Pi用SDHCカードを用意する

SDHCカードにはRaspberry Pi OSが入ります。(「OS」とは、Raspberry Piを動作させるもので、PCのWindowsやMacのOSXにあたります。) 他のコンピュータとはとても変わっていて多くのユーザーがRaspberry Piのセッティング時に困難に思うところですが、実際「変わっているもの」として設定を続けましょう！

以下の説明はWindows OSユーザー向けです。LinuxやMacユーザーはこのURLの説明をご覧ください。
<http://www.raspberrypi.org/downloads>

1. Raspberry Pi OSのダウンロード

推奨されているOSは *Raspbian* (ラズビアン) と呼ばれています。ここからダウンロードします。

<http://downloads.raspberrypi.org/images/raspbian/2012-12-16-wheezy-raspbian/2012-12-16-wheezy-raspbian.zip>

2. ダウンロードしたファイルを展開します

- 右クリックで“Extract all”(全て展開)を選びます。
- ソフトの通りに操作すると、ファイルの拡張子が「.img」で終わるファイルができます。

この「.img」ファイルはSDHCカード用のもので、専用のソフトで次のように書き込みます。

3. 「Win32DiskImager」ソフトをダウンロードします

- ここからwin32diskimager-binary.zipをダウンロードします((2013年1月)現在バージョン 0.6)。

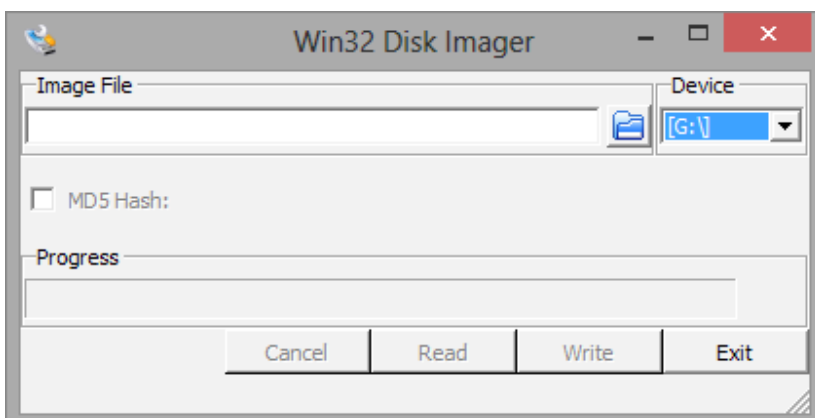
<https://launchpad.net/win32-image-writer/+download>

- Raspbian .zipファイルと同じ方法で展開します。
- 「win32diskimager-binary」というフォルダーができます。

これで、RaspbianのイメージをSDHCカードに書き込む準備ができました。

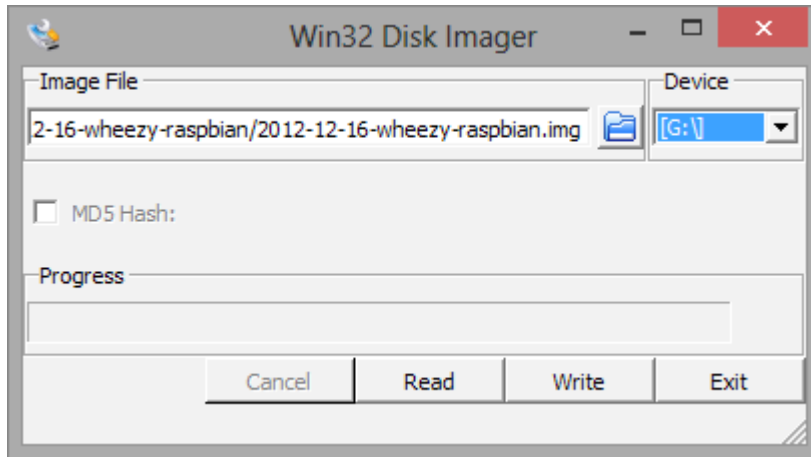
4. RaspbianのイメージをSDHCカードに書き込む

- SDHCカードをPCに挿入します。
- ステップ3(b)で作成したフォルダにWin32DiskImager.exeというファイルがあるので起動します。
(Windows Vista, 7 と 8 ではこのファイルを右クリックし、「管理者として実行」を選択して起動することを推奨します。) 以下のように表示になります。



- 使用しているSDHCカード(デバイス)が自動的に見つからない場合はdボックスをクリックして選択します。このSDHCカードをRaspberry Piのインストールに使います。

- d) *Image File* (イメージファイル) ボックスで、ダウンロードしたRaspbianの「.img」ファイルを選択します。



- e) 「Write」(書き込む)を選びます。
f) 数分で、Raspberry PiのイメージがSDHCカードに書き込まれます。

5.Raspberry Piを初めて起動する

- a) 併せてクイックスタートガイドの1ページを参照ください。
- b) 最初の起動では `Raspi-config` (ラズパイ コンフィグ) ウィンドウが表示されます。
- c) 必要に応じて `timezone` (タイムゾーン)や `locale` (ロケール)を設定します。
(※ここで `locale` を `ja_JP.EUC-JP` や `ja_JP.UTF-8` に変更すると文字が化けてしまいます、この点やキーボードレイアウト変更を含め `Raspi-config` について詳細は、公式フォーラム日本語コミュニティ <http://www.raspberrypi.org/phpBB3/viewforum.php?f=82> を参照ください)

- d) 最後に、
`expand_rootfs`

を選び、再起動のために、「yes」を選択してください。

- e) Raspberry Piは再起動し、「`raspberrypi login:`」プロンプトが表示されます

- f) ログインユーザー名は「`pi`」です。
`pi` と入力します。

- g) パスワードを尋ねられます。

- h) パスワードは「`raspberrypi`」です。
`raspberrypi` と入力します。

- i) プロンプト「`pi@raspberrypi ~ $`」が表示されます。
`pi@raspberrypi ~ $`

- j) 「`startx`」と入力しLXDEデスクトップを立ち上げます。
`startx` と入力します。

- k) 「見たことがありそうな、でも、ちょっと変わった」デスクトップ環境が立ち上がります。

- l) 実験し、体験し、楽しんでください！

詳細は www.raspberrypi.org のフォーラム <http://www.raspberrypi.org/phpBB3> を参照ください。
(フォーラムには日本語のコミュニティもあります。)

OSの最新版は <http://www.raspberrypi.org/downloads> からダウンロードできます。